

介護職員養成講座で高齢者疑似体験教室開催

7月27日(日)午後1時30分～3時まで池田市社会福祉協議会からの呼び掛けにより、池田市の千寿クリニック内にある株式会社アットホームにて高齢者疑似体験教室を開催致しました。当日の受講者は30歳から50歳の男女11名でヘルパー資格を取る為、熱心に受講されました。わかばの会より岡田さん、河原さん、私の3人がインストラクターとして参加。

階段の上り下り、買い物での小銭の出し入れ。色彩カードによる色の見分け方、コップにお茶を注ぐ事、パジャマのボタンかけ、お箸で豆を取るなどの困難さ等、色々な日常作業の大変さを学ばれ、終了後の感想発表では高齢者の日常行動が大変であることを体験により学んだとのことでした。



(木村良三)

わかば俳句会 晩夏作品

大通り外れてカフェソーダ水
マツチ擦る父の想い出花火の夜

月野 恵子

風となりしいのちを恋ふる夜の秋
盆踊り紅緒の下駄のよく似合う

長谷川由紀子

庭に鳴く春鶯の名を知らずなり
飾り窓ミモザの花と黄バック

樋口 道子

唐突に耳をつんぎくはたた神
高階より見下ろす街の遠花火

吉田 みつよ

樹の幹に四肢ふん張って蟬の殻
網張って満艦飾の土用干

荒尾 かつら

八合目あたり明滅登山の灯
大津絵の鬼しかめ面夕立来る

辻 月女

♪♪♪ 第2回音楽療法を体験して ♪♪♪

7月25日、会員の横田直江さんの指導で第2回音楽療法をおこなって頂きました。連日マスコミの熱中症報道で参加人数を心配しましたが24名の方がきて下さいました。

和やかな雰囲気の中でまず腹式呼吸から、いっぱい吸っていっぱい吐くという当たり前のことが出来ていないのを感じました。小指と親指を開いて閉じて30回という動作では途中で指がつって開かず、2組に分かれて行われた早口言葉の対抗戦は、どちらのチームも舌がもつれて何を言っているかわからない状況で引き分けとなりました。その他の動きもなかなか出来ず会場は爆笑の連続でした。その後みんなで瀬戸の花嫁を合唱し最後に横田さんに2曲素晴らしい歌声を披露して頂き終了となりました。

この療法を経験して、参加の方々から自分の体がどれだけ衰えているか反応が鈍くなっているかを改めて感じたという意見が多く出ました。長くボランティアをされてきた横田さんの気配りは毎回感心するのですが、その中で今回は池田の大菅三郎さんの民謡を聞かせて頂き、会員の野口裕康さんとの軽快な会話など笑いの渦巻く時間でした。また新入会員の田淵光子さんも参加して下さいました。音楽療法は呼吸、脳、指、舌などを刺激して人として健康に生きる事を目標とするものです。次回は10月24日(金)に行う予定です。沢山の方の参加をお待ちしています。

(吉田光代)